

入学式 在校生代表挨拶「歓迎のことば」

暖かな春の日差しが心地よい季節となりました。新高校一年次生の皆さん、そして新中学一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

仲間とは、認め合う存在である。

仲間とは、助け合う存在である。

仲間とは、高め合う存在である。

ここに集まった皆さんは、同じサイエンス生としての仲間です。また、数々の行事や研修を共に過ごす仲間でもあります。

皆さんは今、どんな気持ちでしょうか。新しい学校、新しい友達、見慣れない設備を前にして、これからの学校生活に期待を抱いている人もいれば、不安を感じている人もいるのではないのでしょうか。今日はそんな皆さんにサイエンスでの学校生活をより良いものにするための知識と知恵をお伝えしましょう。

サイエンスには、たくさんのチャンスがあります。SLをはじめとする研究活動では、研究発表会へ参加できる機会があるかもしれません。また、学校を代表して海外研修に参加できるかもしれません。しかし、皆さんに覚えておいてほしいことがあります。このサイエンスフロンティアで有意義な学校生活を送れるかどうかは、皆さんの挑戦にかかっているということです。私は、この2年間でマレーシア海外研修旅行を合わせて3つの海外研修プログラムに参加しました。どの海外研修も驚きと感動に溢れ、新しい発見をするたびに心が躍りました。今年1月に参加した米国西海岸ベイエリア海外研修では、カリフォルニア州北部のシリコンバレーを訪れ、Apple社とFacebook社でお話を伺うことができました。「世界中の人が集まって、バラバラのパーツが組み合わさって、一つのものが出来上がる」仕事に対する熱い情熱。たくさんの人の意見のミックスによる創造の数々。本当にいろいろなことに気付けた研修でした。

皆さんにも、ぜひそんな体験をしてもらいたい。いろいろなことを感じてほしい。もちろん、全員が参加できるものではありません。しかし、それと同時に全員が参加しようと思うものでもありません。挑戦する心を忘れないでください。

立ち止まってしまうこともあるでしょう。そんなときには、サイエンスの優しい先生方や私たち2,3年生を頼ってください。失敗したっていいんです。その分だけ成長できる可能性があるのですから。

ここに集まった最高の仲間と共に、12年目を迎えたサイエンスを、更なる高みへ開拓していきましょう。

令和2年4月7日

在校生代表